

(様式2(1))

事業所名 グループホーム はたつか

目標達成計画

作成日: 平成 23年 10月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	2	地域との繋がりをより一層深める。	運営推進会議等を通じて、双方向の交流をつなげる機会を見当する。	運営推進会議等で情報を頂き、地域の花火大会や、盆踊りの行事に参加して、交流を繋げていく。 2ヶ月
2	5	玄関の施錠しない時間帯を工夫する。	玄関の施錠をしているので、施錠しない時間帯をつくる。	入居者の安全の為に施錠しているが、自由にできる環境をつくり、施錠しない時間帯をつくる。 6ヶ月
3	35	災害時における地域住民との協力体制を築いていくために、近隣住民にたいして、事業所への周知を図る働きかけを日頃からさらにつづけていく。	災害が起こった時に地域住民と協力体制をとり、近隣住民に事業所の周知を図り、協力体制を整えていく。	運営推進会議で、事業所の周知をはかり、災害時などでは、お互いに協力体制が出来るように、婦人会の人達にも協力して頂けるように、体制作りをととのえる。 2ヶ月
4	40	職員がお弁当を持参しているが、利用者の笑声と共に調理した食事を、職員も一緒に食して、食事を楽しむ支援になるのではないか。	入居者と一緒につくった食事を一緒に食するようにしてみる。	会社からの補助で、職員も入居者と一緒に食をするように会社として考えていき、ミーティング等で職員達にも意見を出して頂く。 2ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。